

第9期第4回武蔵野市情報公開委員会 会議要録

- 日 時 平成27年1月27日(火) 午後6時30分～8時
- 場 所 武蔵野ふるさと歴史館 会議室
- 出席者 委員 6名
事務局 2名

1. 議事

- (1) 第3回委員会会議要録について
- (2) 平成26年度の開示等状況について
- (3) 平成26年度武蔵野市市民意識調査報告書(速報版)について
- (4) CIMコラムのテーマについて
- (5) 市報むさしの情報公開特集面及び市ホームページの情報公開・個人情報保護のページについて
- (6) その他

2. 議事における会議要録

- (1) 第3回委員会会議要録について

(委員長) 第3回委員会会議要録について、変更や修正箇所はいかがでしょうか。特にな
いようですので、会議要録は確定とします。

- (2) 平成26年度の開示等状況について

(委員長) 議事の2「平成26年度の開示等状況について」事務局から報告をお願いします。

(事務局) [行政文書の開示請求については、平成26年度9月～12月は18件で、25
年度同時期の18件と比較すると同件数であった。自己情報の開示等請求につ
いては、平成26年度9月～12月は14件で、25年度同時期の8件と比較する
と増加した。自己情報の開示等請求について期間を延長したものは1件であ
った。以上について事務局から報告を行った。]

(委員長) 開示等状況について、質問等いかがでしょうか。特にないようですので、よろ
しいでしょうか。

- (3) 平成26年度武蔵野市市民意識調査報告書(速報版)について

(委員長) 議事の3「平成26年度武蔵野市市民意識調査報告書(速報版)について」事務
局から報告をお願いします。

- (事務局) [平成 26 年度武蔵野市市民意識調査報告書(速報版)について、事務局から報告を行った。]
- (委員長) 報告書について質問等あれば、お願いします。
- (委員長) ニーズをまとめた表のように、点がどの位置にあるのかを示すと全体での位置が見えますし、次回は、前回から点がどう動いたといった時系列の変化を追えるようになります。単なる棒グラフだけではなく、このような表を増やしていくと良いと思います。
- (委員長) 他によろしいでしょうか。最終版を期待しています。

(4) CIMコラムのテーマについて

- (委員長) 議事の4「CIMコラムのテーマについて」事務局から説明をお願いします。
- (事務局) [事務局から、4月15日号～7月15日号のCIMコラムテーマ案として、①子育て支援施設「すくすく泉」、②若者サポート事業、③ゲリラ豪雨対策、④宮本小路公園、⑤水の学校の4テーマを挙げた。]
- (委員長) 先に新しいテーマがありましたら、それを加えてから議論したいと思いますがいかがでしょうか。何か新しいテーマはありますか。
- (委員) 子ども・教育の項目ですが、学校教育計画が教育長に答申されましたので、この計画も3月頃に策定され、公表されるのではないかと思います。それから、振り込め詐欺や還付金詐欺ですが、武蔵野市は全国でも被害額が多いと聞きました。還付金という市も関係することから、記事にして抑制につながればいいと感じています。
- (委員長) 振り込め詐欺への対応というのは、どの分野に入りますか。
- (事務局) 振り込め詐欺への対策については、CIMコラムが良いのか安全対策課で広報記事を出した方が良いのかというのはあると思います。今でも被害がある、狙われていると考えると、様々なもので情報を提供しないといけないと思います。
- (委員長) 振り込め詐欺と、もう一つは、子ども・教育分野の学校教育計画の策定で2件ですね。他にありませんでしょうか。大学との連携は、なかなか進んでいないようです。個別の連携は色々あるのですが、市全体と大学全体との連携というのはなかなか難しいものがあるようでして、このテーマはもう少し先がいいですね。他に新しいものがなければ、振り込め詐欺は掲載できるならば採用しても良いと思いますが、いかがでしょうか。
- (事務局) 振り込め詐欺をCIMコラムとして扱うことは可能と思いますが、安全対策課で独自に出した方が、効果があるかもしれません。または、市報に消費生活センターで記事を書いていますので、この枠でも良いかもしれません。
- (委員長) それでは、どのように載せた方が良いか事務局で検討するというので、今回は、事務局が挙げた5項目の中から4項目を採用することで良いでしょうか。
- (委員) 振り込め詐欺についてですが、高齢者への周知は市報が一番だと思いますので、消費生活センターと調整して載せた方が良いのかなと思います。

- (委員) これだけ世の中で言われているのに、なぜ詐欺にかかってしまうかという、実に巧妙にATMまで連れていくと聞きます。また、市から通知が来ているはずだと言われたときに、自分が手続きをしなかったことが申し訳ない、早く済ませないといけないという気持ちが先行してしまうとも聞きます。だますほうが巧妙になっているのかなとは思いますが。
- (委員) 地方に行くと、振り込め詐欺に気を付けましょうと放送が流れていたりします。武蔵野市では流れていませんが、実態としてはあるということですね。
- (事務局) ホワイトイーグルが回っているときに、そのようなPRをしても良いのかなと思います。警察が広報紙に掲載したり、消費生活センターや国民生活センターでも注意喚起を行っていると思います。市の施策を紹介するCIMコラムでどのようにまとめていくか難しいと思うところはあります。
- (委員) 振り込め詐欺に対する市の取り組みならばどうでしょうか。
- (事務局) そのような切り口ならば、CIMコラムに馴染むかと思います。
- (委員長) 振り込め詐欺はある程度緊急的な内容ですので、検討していく必要はありますね。この二つのテーマは、項目として挙げておきましょう。
- この中では、「すくすく泉」は、先程報告があった市民意識調査の認知度がわりと低かったのを知ってもらいたいと感じました。この5項目の中から、優先順位を付けて絞り込むのもなかなか難しいと思いますので、もし皆さんが良ければ、この5項目を採用して、事務局のほうで適宜掲載するという形でいかがでしょうか。
- (委員) 若者サポート事業は若者の居場所づくりということですが、これに関連して子ども向けのテンミリオンハウス「あおば」が耐震性の理由により閉館になると聞きました。代替の施設が無くて、子ども向けのテンミリオンハウスが閉館してしまうというのは、非常に残念だと思っています。
- (事務局) 詳細に把握していませんが、基本的には「あおば」の機能は、少し範囲を広げて「すくすく泉」が行っています。
- (委員) 中高生の部分は、若者サポート事業が引き継ぐということでしょうか。
- (事務局) 「あおば」は中高生を対象としてはいません。中高生の居場所となるとプレイスの地下のスペースやコミュニティセンターでしょうか。
- (委員) コミュニティセンターは、例えばゲームを持って来て集団でやったりとかということで、中高生の居場所としてどうかという話も聞きますので、中高生の居場所というところを触れられたら良いと思います。
- (委員長) 若者のサポートについては様々な観点があると思います。市としてPRしたい「若者サポート事業」を中心にまとめることになると思いますが、調整等お願いしたいと思います。
- (事務局) 中学生のときは地域とつながっているのですが、高校生は高校を中退してしまうと、どうなってしまうかわからないのです。そのような若者を支援しようというのがこの若者サポート事業です。対象となる人はかなりいるのですが、開始して間もないこともあり、なかなか集まっていないところがあります。CIMコラムに掲載すれば、本人が見るとは限らないのですが、

保護者が見るかと思います。

(委員長) そのような部分も掲載すれば良いと思います。掲載の時期ですが、ゲリラ豪雨は6月かその前に掲載した方が良いでしょうし、水の学校も開校の前に載せた方が良いでしょう。掲載の順番は事務局をお願いします。

(5) 市報むさしの情報公開特集面及び市ホームページの情報公開・個人情報保護のページについて

(委員長) 議事の5「市報むさしの情報公開特集面及び市ホームページの情報公開・個人情報保護のページについて」、事務局から説明をお願いします。

(事務局) [市報むさしの情報公開特集面について、平成26年5月15日号の特集面により、また、市ホームページの情報公開・個人情報保護のページについて、資料により説明を行った。]

(委員長) 議論すべき内容が2つありますので、分けて議論した方が良いでしょう。まず、市報の方ですが、昨年に検討した結果、それ以前に比べて分かり易くなりました。今回、大幅に変えるのもどうかと思いますので、基本的には昨年と同じ構成とし、小規模な修正で良いと思いますが、いかがでしょうか。

(事務局) 昨年のもを基本にして良いのであれば、それをベースに事務局で案をつくっていきます。

(委員長) 27年度版はどのようになりますか。

(事務局) 前は2色刷りでしたが、今回はフルカラーになると思います。

(委員長) カラーになった原稿が出来るのは何時ごろですか。

(事務局) 5月15日号ですと、4月後半です。昨年は6月15日号でしたので、5月の委員会に原稿を示して、その後、5月末に校正原稿を見てもらいました。校正が5月15日号ですと4月後半、6月15日号ですと5月後半になると思います。

(委員長) 校正の段階では、あまり修正できないですね。

(事務局) 事務局で原稿をつくった段階で見てもらった方が良いでしょう。

(委員長) 校正原稿を皆さんに見てもらいますが、その前に原稿ができた段階で皆さんに送り、意見をもらうということで良いでしょうか。

(事務局) はい。

(委員) 有償刊行物は図書館等でも販売していると思うのですが。

(事務局) 図書館で一部の有償刊行物を、また、市政センターでは市内案内図を扱っています。

(委員) 買えるものが限られるのならば、市役所以外で買えることは市報特集頁には載せない方が良いでしょうか。

(委員) 先程、ここで「子ども武蔵野市史」を見たのですが、ふるさと歴史館でも販売できれば良いと思います。

(事務局) 市政資料コーナーでは扱っているのですが、有償刊行物をどの施設で販売するかは難しいところです。

(委員) 「子ども武蔵野市史」のような子ども用の歴史の本は分かり易くて良いと思い

ます。ふるさと歴史館ができたので、改訂するとか、新しいものをつくるという予定はないのでしょうか。情報は新しくなっていく訳ですし、有償刊行物はどのくらいの期間で改訂しているのでしょうか。

(事務局) 年度本の冊子以外で改訂となると、『玉川上水あるく』以外はあまり改訂していないかもしれません。

(委員) していないのですか。住居表示案内図も古いものですね。住宅地図はかなり高額なので、市の住居表示案内図をコピーしましょうとなるのですが、これが高かなか古いものでして、これらの更新はどうなのでしょう。

(事務局) 年度毎に発行するものや、一定期間毎に発行する冊子については、更新して発行しており、地図については、市内案内図や都市計画図は更新しているのですが、話題に挙がっている住居表示案内図は、平成8年を最後に有償刊行物としての住居表示案内図は作成していません。ただし、需要があるので、平成8年のものを在庫がある限り販売するという扱いにしています。

(委員) 市内案内図はどうですか。

(事務局) 市内案内図は更新しています。この市報特集頁に掲載している中では、市内案内図や市勢統計等の年度本については更新して発行しています。市史や百年史等一回発行してそのままというものもあります。幾つかの刊行物については、新しい冊子が作られないので、内容が古いというところもあります。

(委員) 累計というのは在庫の意味ですか。

(事務局) 市政資料コーナーでの年間販売部数です。

(委員) 例えば武蔵野市史は、何年までの市史が掲載されており、問い合わせがあった場合、何年までが掲載されていますと回答するのでしょうか、それを考えると、何年までが掲載されているかを示した方が良いのではないのでしょうか。購入する人から見ると現在まで掲載していて欲しいと思うでしょうし、市史もかなり以前に編纂したものですよね。

(委員長) 累計や価格を右にずらして、発行年月日を入れられないでしょうか。

(事務局) 発行年月は入れられるかもしれません。市ホームページに挙げている有償刊行物の一覧には発行年月が入っているのですが、市報特集頁では掲載していませんでした。

(委員長) 市報特集頁の方にも入れると良いでしょう。刊行物によっては古くないことを示す意味でも発行年月の欄を作ってください。それでは、原稿を作成し、仮版が出来た段階で検討するという事で良いのでしょうか。

次に、ホームページですがいかがでしょうか。今、意見と言われてもなかなか難しいかもしれません。一回画面を見た方が良いと思います。パソコンで直接見れば、使い勝手等も分かると思いますし、この作業には期限があるのでしょうか。

(事務局) 特にはありません。

(委員長) 資料を見ると、こういう情報があるから見てくださいといった一方的な感じで、ニーズに沿って、こういうことを知りたい、こういうことを調べたいという切り口で作られていないような気がするのです。

- (委員) そのようですよね。
- (委員長) 例えば最初のページは項目の列挙しかなく、何を知りたいのかという説明がないので、どこを調べれば良いのかわからないのではないのでしょうか。特定のページへのアクセス数は分かると思います。一番見られているページから何が知りたいかが分かるので、その内容を最初のページに挙げる工夫をするとうまいと思います。客観的に見て、使う側の立場があまり反映されてないという感じです。
- (委員) よくトップページにあるように、枠の中にキーワードを入れると、そのページに行くようなことは出来ないのでしょうか。
- (委員長) 市ホームページのトップページにも検索用の枠はあります。そこにワードを入れれば、関連したページに行き着くことは出来ます。
- (委員) ホームページ内にある言葉の検索になってしまうのではないですか。情報公開と入力したら、情報公開の最初のページに行ってくれたら良いのですが、現在のホームページの作り方では色々なページに行ってしまうと思います。
- (委員) サイトマップは無いのですか、
- (委員長) ホームページの一番上の部分が、サイトマップになっています。
- (委員) 知っている人ならば、情報公開のページに行けるのですが、知らない人は、情報公開のページが市政情報の部分にあるかどうか、多分わからないと思います。
- (委員長) 資料の市ホームページは、あまり見たことがないと思いますので、次回、実際の画面を見て意見を出してもらえればと思います。
- (委員長) 市には、ホームページの形式についてルールがあるのですね。
- (事務局) あります。
- (委員長) 市には、ホームページ作成上のルールがあるようでして、この部分のページだけを特別に作り込むのは無理なようですが、少し工夫をした方が市民に見てもらえると思います。画面を一回見て、そうすると皆様からかなり意見が出てくると思いますので、その意見を踏まえてもらえれば良いと思います。
- (事務局) システム的に一定の制限があるのかもしれませんが、皆さんの意見をいただいて、いかに見易く、使い易く出来るかを検討したいと思います。
- (委員長) それではそのようにお願いします。
- (事務局) 本日の資料は分かりにくいもので済みませんでした。
- (委員長) これは期限がないので、今後の検討課題として、次回にこのようにしたらどうかという意見を挙げるようにしたいと思いますので、よろしく願います。

(5) その他

- (委員長) その他について、事務局から何かありますか。
- (事務局) 次回委員会の日程について、調整したいと思います。
[次回委員会の日程について調整を行った。]
- (委員長) 本日の会議はこれで終了とします。

以上